



成長を感じた瞬間

算数でかけ算の筆算の授業で、 67×8 の問題の解き方をたしかめていました。

一の位の計算 $7 \times 8 = 56$ なので十の位に5繰り上げます。十の位の計算は48なので繰り上がりと合わせえて、 $48 + 5$ を計算します。

この辺りのかけ算と足し算の暗算がすばやくできないとかけ算の筆算はとても苦労するのですが、子どもたちはとてもスムーズに、当たり前のように計算することができました。

2年生の最初は一桁±一桁の計算から練習していたことを思いだし、ずいぶん成長したなあと感じた瞬間でした。

4Qには、「2桁をかけるかけ算の筆算」の学習があります。これは「1桁をかけるかけ算の筆算」と「足し算の筆算」を組み合わせた計算方法で、どちらもしっかりと習得しておく必要がありますが、きっとこの調子なら学習を楽しみながら身に付けていくことができると思います。

また、協働的に活動することとても上手になっています。

話し合って決める、得意を生かして作業を進めるといった経験を積んできたことで、グループワークを円滑に進めることができます。

特にサイエンスプレゼンタープロジェクトでは、全てのチームが1時間のうちに自分たちがやる実験を決め、やり方や必要な材料を調べ、発表用スライドの作れるところまで作ってしまいました。

右の写真のグループは、スライム作りをするのですが、Ms.Kellyにどんなことをするのか、どうしたらスライムが作れるのかを英語で説明までしていました。

その下の写真では、噴火を再現する実験をしています。まだ発注中で材料が足りていない中で、入浴剤の代わりに発泡するものを調べて塩分チャージを使ってみたり、油の代わりになるものを調べてアルコールを試したりしていました。

結果がうまくいかなくても、「どうしてうまくいかないんだろう？」と考えていて、そこまで含めて探究的でよい活動をしているなと感心しました。

3年生も残り5か月となりましたが、きっと子どもたちは最後まで成長し続け、よい姿を私たちにを見せてくれるはずです。

それに向けて、まずは12月のプロジェクト発表会に向けて、学年みんなでがんばっていきます。

応援よろしくお願いいたします。

